

報道関係者各位

2026年6月26日

株式会社エヌブリッジ

全2,106社中トップ5の閲覧数を記録、製造業・建設業の人手不足で「音声AI」に注目集まる
音声AI報告ツール『GenbaVoice』が、ものづくりワールド2026「注目の5製品」に選出



音声とAIの融合で現場の間接業務をゼロにする、エヌブリッジの次世代ソリューション『GenbaVoice』と『WazaMemo』

株式会社エヌブリッジ（本社：愛知県名古屋市、上田晋作社長）は、2026年7月1日（水）より東京ビッグサイトにて開催される、日本最大級の製造業展示会「ものづくりワールド2026（第1回ものづくりNEXT）」に出展します。

これに先立ち、同展の公式ウェブサイト上で公開された出展社・製品検索ページにおいて、全2,106社の出展企業および数千点におよぶ登録製品の中から、当社の音声AI報告ツール『GenbaVoice（現場ボイス）』が閲覧数トップ5となり、展示場内の公式看板「注目の5製品」への掲載が決定しました。

この結果は、日本の基幹産業である製造業や建設業において、「人手不足の深刻化」と「技能伝承」という2つの大きな社会的課題に対し、現場での「音声 AI」利用が注目を集めていることを裏付けるものと言えます。

■ なぜ今、現場の「音声 AI」が主流になるのか？

従来の製造現場や建設現場における DX は、タブレット端末等を使ったシステムへの入力作業を伴うものが多く、「現場の作業者が入力に追われ、かえって負担が増える」という構造的な課題を抱えていました。

今回、2,106 社の中でトップ 5 の閲覧数を記録した『GenbaVoice』は、音声入力と AI を組み合わせることで、現場の「書く」と「入力」の負担をゼロにすることを目指した次世代の現場記録ツールです。

現場でスマートフォンに向かって話すだけで、AI が文脈を理解し、作業報告やトラブルの対策案を自動生成します。タイピングや書類作成の手間を「話すだけ」に置き換える圧倒的な簡便性が、DX のハードルに悩む多くの企業から支持され、今回のアクセス集中へと繋がりました。



ものづくりワールド 2026「注目の5製品」に入選した
音声 AI 報告ツール『GenbaVoice（現場ボイス）』

■ もう一つの社会的課題「技能伝承」を、AI 対話で解決する『WazaMemo』

エヌブリッジでは、今回の展示会において『GenbaVoice』に加え、製造業や建設業において人手不足と並ぶ重要課題である「ベテランの暗黙知の資産化」に特化したナレッジ共有 AI ツール『WazaMemo（ワザメモ）』を同時公開します。

「若手が育たない」「熟練者のコツがマニュアル化できない」という課題に対し、

『WazaMemo』は AI 側から現場の作業員へ対話を投げかけます。作業員が AI の質問に口頭で答えるだけで、これまで言語化が困難だった熟練の「ワザ（コツ）」を自動抽出し、データ化・組織内共有を可能にしました。

「GenbaVoice」による日々の報告の自動化、そして「WazaMemo」による暗黙知の継承。2つの課題と「音声+AI」の親和性が、日本のものづくりの未来を守るブレイクスルーとして、開催前から大きな期待を寄せられています。



ものづくりワールド 2026 で同時公開。AI との対話で
暗黙知をデータ化する『WazaMemo (ワザメモ)』

■ 株式会社エヌブリッジ 代表取締役社長 上田晋作のコメント

「厳格な工程管理が求められる航空機産業に身を置いてきた私たちが、今、課題として認識しているのが、DX や技能伝承に伴う『現場の間接業務の負担増』です。

組織を効率化するためのデジタル化が、かえって現場の入力作業という新たな負担を生んでいます。また、技能伝承のための後進の指導やマニュアル作りの要請が現場にさらなる負担を強いています。本来、現場の集中力は、本業である生産活動に向けられるべきです。これらの問題を、「音声」と「AI」で解決を図るのがわれわれの取り組みです。

今回、2,106 社という多くの出展企業の製品の中から、当社の『GenbaVoice』がトップ 5 に選出されたのは、現場に新たな負担を強くない仕組みへのニーズの現れだと捉えています。

す。音声と AI の融合こそが、これからの現場のスタンダードになると確信しています。ぜひ東京ビッグサイトのブースで、その圧倒的な業務スピードをご体感ください」

■ 展示会開催概要および出展ブース情報

会期中は、東京ビッグサイトの各ホール入口に設置される公式看板「注目の 5 製品」に、当社の製品概要および小間番号が掲載されます。また、当社ブースでは実際のスマートフォンを使用し、話すだけで AI が報告書やノウハウを生成する実機デモをその場で無料体験できます。

【名称】第 38 回 ものづくりワールド [東京] (第 1 回 ものづくり NEXT)

【日時】2026 年 7 月 1 日 (水) ~7 月 3 日 (金) 10:00~17:00

【場所】東京ビッグサイト (東展示棟)

【弊社小間番号】E42-26 (東展示棟 7 ホール)

※メディア関係者様の個別取材、ブースでの代表者インタビュー、実機デモの撮影につきましては随時受け付けております。下記の問い合わせ窓口までお気軽にご連絡ください。

■ 株式会社エヌブリッジについて (運営会社概要)

株式会社エヌブリッジは、世界の航空産業サプライチェーンへの参画を目指す『航空エンジン参入支援』と、現場の暗黙知をデータ化して技術継承を支える『現場 DX/IoT』を展開する、製造業特化型の DX・技術支援企業です。属人化した現場を次世代の成長の原動力へと変革します。

事業内容

・現場 DX / IoT : 熟練者のノウハウや現場の動きをデジタル技術でデータ化。現場の「属人化脱却」にフォーカスし、工場の改善や確実な技術継承、持続的な成長を可能にする DX サービス (GenbaVoice、WazaMemo、工場診断オンライン、稼働監視キット Pro) を提供しています。

・航空エンジン参入支援：大手重工出身者の知見を活かし、航空エンジン部品モデルを用いた実践的な技術習得・工程管理体制構築プログラムを提供。「実績がない」という壁を突破し、世界の航空サプライチェーンへ参画する架け橋となっています。

会社名：株式会社エヌブリッジ

代表者：代表取締役社長 上田 晋作

設立：2015年6月

本社所在地：〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1-26-8 葵ビル 6階

資本金：1,000万円

会社ウェブサイト：<https://nbridge.jp>

製品公式ウェブサイト

GenbaVoice：<https://genbavo.com>

WazaMemo：<https://wazamemo.com>

【本件に関するお問い合わせ先・取材のお申し込み】

株式会社エヌブリッジ 担当：上田、野村

TEL：052-908-7775

E-mail：eigyohonbu@nbridge.jp